

一人ひとりの個性を輝かせる

指定障害福祉サービス事業所 おごせ福祉作業所



障がいのある人の就労支援などを行う「おごせ福祉作業所」(如意)では、現在30人の利用者と18人の職員が働いています。障がいは、知的、精神、身体など種類は様々で、程度も人によって異なります。しかし、作業所で働く利用者の様子を伺うと、みな生き生きとした表情で熱心に作業に取り組んでいます。職員の今井さんと利用者にお話を伺いました。

個性を最大限活かした作業

おごせ福祉作業所では、「クッキー班」、「まんじゅう班」、箱の組み立てなど業者から請け負う「請負班」があり、利用者の個性や意向を尊重し振り分けられています。班の仕事のほかに、販売は挙手制で毎回募り、里の駅での販売は社会参加の機会を平等に与えるため当番制で行っています。

作業にあたり工夫している点を聞いてみると、「工程は分割し、みんなで1つのものを作ります。最初に工程を説明すれば理解できる方には一連の流れを任せます。また、職員が一方的に指示するのではなく、『何をしましょうか』と自発的に言ってくれるように待ってみました」(今井さん)

好評な声を聞く一方で…

クッキーやまんじゅうは、梅やゆずなど地元産にこだわって、観光客のお土産として人気があります。また、オリジナルのシールを作成したり、目的に合わせた形のクッキーを作ったりするなど、お客様の要望に沿った商品づくりもしています。「たまたまお土産として購入した人が、美味しいと気に入ってくれ、後日発注をいただいたこともありです。とてもうれしかったです」(今井さん)と多くの好評をいただいています。

その一方で、中には『障がい者』を先入観だけで判断し、理解してもらえない方もいます。そのためにおごせ福祉作業所では、清潔な身だしなみで手洗いなど衛生管理



おごせ福祉作業所
今井郁美さん



- 1 アニマル型の「なかよしクッキー」の型抜きと模様付け。とても細かい作業です。
- 2 なかよしクッキーの袋詰め。
- 3 会員さんに月1度配達する「スイーツ輪々セット」用のおはぎ作り。
- 4・5 請負班のこの日の仕事は、メモ帳の袋詰めや箱の組み立ての作業。

－ おごせ福祉作業所の人気商品 －



まんじゅう

越生の梅やゆず、よもぎを使った定番のまんじゅう。



梅ジャムクッキー

越生の完熟梅で作った自家製ジャムを使用。お土産に大人気。



ユズガッツ

サイクリストがハンドルをにぎりながらでも片手で食べられる。

観光センター「里の駅」で販売中！



営業時間 午前9時～午後4時
定休日 12月29日～1月3日
所在地 越生741-2
電話番号 292-2514

※詳しくは、ホームページ（社会福祉法人かえで）をご覧ください。

仕事楽しい！毎日楽しい！

今井さんは、「利用者のみなさんは、本当に仕事が好きなんだと思います。できることが一つ一つ増えることで、自信が付き、明るく、やる気に満ちあふれ、日に日に顔つきが変わります」と利用者の成長ぶりを感ずるそうです。

も徹底的に行い、障がい者に対する偏見をなくすための努力をされています。

利用者のみなさんにもお話を聞きました。「毎日が楽しいです。仕事以外でもクラブ活動があって、スポーツをやっています。毎回違うスポーツをするため、楽しく参加しています」（山口さん）。
「動物クッキーを作るのが楽しいです。特に最後の仕上げの工程が一番楽しい。毎日作業所に通うのが楽しみになっています。難しいことやわからないことは、職員さんに聞くと優しく教えてくれます」（新井さん）。